

2024年度事業報告書

学校法人葛谷学園
中和医療専門学校

「2024年度事業報告書」

I 管理部門

(1) 教育環境の向上

1. 施設備品の整備充実

- ①パソコン関連機器（授業用ノート PC、ウイルス対策用ソフト、研究用 PC 等の一部買い換え）

2. 経費削減への取り組み

コピー紙等消耗品、光熱費ほか、経費削減に引き続いて努力した。

(2) 入学生の確保

1. 入試関連事項

1) 受験料の減免

平成 28 年度入試から、入学検定料を 15,000 円に減額した。また学校説明会参加者にはさらに 5,000 円減額し、受験者の負担を減らし受験しやすくしている。

2) 受験者数と入学者数

総受験者数は、対前年比 4 名減少の 107 名であった。科別受験者数は、対前年比で本科は 2 名増加の 85 名、専科は 5 名減少の 10 名、柔整科 I 部は 1 名減少の 12 名であった。

入学者数は、対前年比で 10 名減少の 94 名であった。科別入学者数は、対前年比で本科は増減なしの 70 名、専科は 9 名減少の 12 名、柔整科 I 部は 1 名減少の 12 名であった。

3) 指定校推薦

平成 24 年度入試から専科と柔整科に導入している指定校推薦入試の 2024 年度の指定校数は 109 校であった。

（参考：過年度受験者数）

2019 (H30・R1) 年度入試	：	3 名（専 1、柔整昼 2、夜 0）
2020 (R2) 年度入試	：	3 名（専 1、柔整昼 2、夜 0）
2021 (R3) 年度入試	：	2 名（専 0、柔整昼 2、夜 0）
2022 (R4) 年度入試	：	4 名（専 1、柔 整 3 名）
2023 (R5) 年度入試	：	2 名（専 1、柔 整 1 名）
2024 (R6) 年度入試	：	1 名（専 0、柔 整 1 名）

4) A0 入試の導入

近年の本校への入学志望者の減少及び推薦入試と一般入試に係る受験者数の比率等を鑑みて入試の早期実施を行う必要があるため、2019 年度に A0 入試を専科と柔整科に導入した。2024 年度の出願者は専科 5 名、柔整科 6 名の計 11 名、入学者は専科 4 名、柔整科 6 名で合計 10 名であった。

5) 本科の試験実施時期

本科の試験回数は平成 30 年度より 10 月、11 月、翌年 1 月の 3 回実施している（推薦除く）。2024 年度は 10 月、12 月、翌年 1 月、2 月の 4 回実施した。

2. 学校案内・募集要項の改訂

志願者数が減少する中で志願者をより多く確保するため、毎年度、記事の一部変更や写真の更新を行い、より良い内容のものとなるように改訂を行っている。

3. 学校説明会（オープンキャンパス）の実施

回数は 14 回実施し、参加者数は 218 名であった。また同年度から説明対象を全科にしたナイトオープンキャンパスは 12 回実施し、参加者数は 28 名であった。なお開催様式は両者とも対面式で開催した。

（参考 2023 年度：203 名、2022 年度：204 名、2021 年度：240 名、2020 年度：238 名）

4. 学校訪問・進路相談会

2024 年度は 5 月から愛知県を中心に岐阜県、三重県の学校 82 校を訪問した。当該年度から教職員担当者に担当校を割り当てて積極的な訪問を行った。

また、高校内で行われる進路ガイダンスには 18 回参加した。なお毎年度開催されているイベント会場での大規模進学相談会は 1 回参加した。

更に、名古屋市内私立高校の非常勤講師（元名古屋市内中学校の校長、現在は主に中高接続の仕事をしている）である方の関係する高校の運動部生徒に本校に来校いただきトレーナー活動、テーピング指導などを行った。

5. 広報活動

ホームページと学校案内・募集要項とは同一業者に委託し、同じコンセプトのもと、志願増加を目指した。

○広告媒体の現状。

- ・学校案内等を卒業生や関係団体宛に送付。
- ・進学ネットサイト検索の充実（「マイナビ進学」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索と、資料送付（「進路のミカタ」：マイナビ）

- ・進学ネットサイト検索の充実（「スタディサプリ進路」：リクルート）
- ・社会人の医療系への転職希望者に対してダイレクトメールを送付（リクルートより）。
- ・学校説明会参加者及び業者アクセス者のリストをもとにダイレクトメール発送。

6. トレーナー部

一昨年度より実施しており、昨年度は中学生女子ラグビー大会、レスリング国民スポーツ大会岐阜県予選、アーチェリー協会帯同、大同高等学校サッカー部などにトレーナー活動を実施し本校の啓蒙活動に努めた。

（3）生徒への取り組み

1. レクリエーションの実施

コミュニケーション能力を育み、クラス内親睦、学年間の交流そして他学科の生徒とも友好的な人間関係を形成することを目的としている。2024 年度は稲沢ボウリング場で開催した。

2. 退学者予防対策

頻回の担任による個別面談で学生をフォローすることで学期に臨んだ。2024 年度の退学者は 11 名（本科 8 名、柔整科 3 名）であった。前年の 2023 年度は 10 名であった。

3. 学生生活指導

入学次の「挨拶指導の徹底」。担任による頻回の面談などに取り組み、入学時のミスマッチ、単位未修得者の低減を図った。

4. 授業アンケートの実施

教員の授業を改善していく資料として役立てるために、本科・専科・柔整科の学生全員を対象に授業アンケートを実施した。2024 年度は前期末、後期末に 2 回実施した。

5. 国家試験合格率 100%をめざして

国家試験合格率 100%を目指して、課外補修授業や模擬試験等の実施を行った。
2024 年度新卒国家試験結果は「あま指師国家試験」では 100%、「はり師国家試験」では 91.5%、「きゅう師国家試験」では 91.5%、「柔道整復師国家試験」では 61.9%であった。
年度末に総括を行い、次年度に反映させる。

6. ハラスメント講習会の実施

本校顧問弁護士（本町シティ法律事務所、齊藤 勉先生）により全校生徒および教職員、講師に対する学校現場で起こる可能性があるハラスメント事例についての講習会を

実施した。また当日聴講ができなかった生徒および教職員、講師にたいしては講習会時に撮影した動画の視聴を義務づけた。

7. トレーナーサークル

教員が補助にまわり、生徒が主体となりトレーナー活動及びトレーナーに必要な知識・技術の向上を目的として活動をしている。

(4) 就職への取り組み

1. 企業展の開催

毎年度、卒業生の就職先の確保のための企業説明会を実施している。2024年度は6月と11月に対面方式の説明会を実施した。

2. 就職相談会の実施

毎年度3月に就職が決定していない卒業生を対象に就職相談会を実施している。2024年度は2025年3月12日、13日に開催し参加は4名であった。

3. 在校生向けキャリア教育・卒業生向け企業紹介ポータルサイト設置準備

(5) 近隣地域との取り組み

1. 「私学を良くする愛知父母懇談会」との取り組み

毎年度、私学を良くする愛知父母懇談会主催の企画に、本校を会場提供するとともに、二つの企画が毎年度、夏（6月）と秋（11月）に開催された。

・春：名称：「初夏のつどい」

・秋：名称：「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」

2. ボランティア活動の取り組み

毎年度、業界団体からボランティア活動の参加要請があり学生と教員が参加してきたが、生徒が学外で行うボランティア活動に対する保険等の整備がなされていないため2024年度も参加を見送った。

3. 稲沢市、稲沢商工会議所との取り組み

稲沢市および稲沢商工会議所主催の稲沢まつりに参加し本校のPRを行なった。
開催日 10月19日（土）、20日（日）

II. 教育部門

（あはき科・はき科）

1. 教員研修会

(公社) 東洋療法学校協会主催 第 47 回 教員研修会

日 時 : 2024 年 8 月 8 日 (木)・9 日 (金)

場 所 : 大阪ガーデンパレス (大阪市)

主管校 : 関西医療学園専門学校

テーマ : 不易流行 (ふえきりゅうこう)

～デジタル化が教育現場で多用される時代に感性を見つめ直す～

教員 6 名が参加した。

2. (公社) 東洋療法学校協会あま指実技審査・はりきゅう実技審査

1) あま指実技審査

本科 3 年生を対象として、9 月 5 日 (木) に (公社) 東洋療法学校協会主催あま指実技審査を実施した。この試験は、学校協会に加盟する他校の教員が評価者として派遣され、生徒が行うあん摩・マッサージ・指圧の実技を評価した。合格者には、後日学校協会から認定書が発行された。

2) はりきゅう実技審査

本科・専科 3 年生を対象として、9 月 20 日 (金) に (公社) 東洋療法学校協会主催はりきゅう実技審査を実施した。この試験は、学校協会に加盟する他校の教員が評価者として派遣され、生徒が行うはり・きゅうの実技を評価した。合格者には、後日学校協会から認定書が発行された。

3. 学術大会

(公社) 東洋療法学校協会主催 第 45 回 学術大会

日 時 : 2024 年 10 月 10 日 (木)

場 所 : 大阪国際交流センター (大阪府吹田市)

主管校 : 東洋医療専門学校

代表として本 3C の 1 グループがポスター発表を行った。

4. 実習科目の複数指導者体制

実習科目について 2024 年度においても、あはきの基礎実習 (本科の 1 年次のあん摩基礎実習・はり基礎実習 H・きゅう基礎実習 H、2 年次の指圧基礎実習・はり基礎実習 H-II・マッサージ基礎実習・はり基礎実習 H-III、専科の 1 年次のはり基礎実習 S-I・きゅう基礎実習 S、2 年次のはり基礎実習 S-II・はり基礎実習 S-III) と 1 年次のあん摩応用実習 I を教員と実習助手の 2 名体制で授業を行った。実習科目の初動教育を充実させ、これを本校の特色とし他校との差別化を図った。

5. 臨床実習（4単位 180時間）

2年次1月より3年次12月までの期間に、附属治療所にて臨床実習を実施した。

1) 2年次

本科は週3回、専科は週4回実施した。春季休業中は各クラス3日（各日7時間）実施した。また、生徒が1月からの臨床実習に対応できるよう、臨床実習開始前の12月に常勤教員による臨床実習説明会を行った。

2) 3年次

本科は週3回（うち1回はクラスの半分が週ごとに入替）、専科は週4回（うち2回はクラスの半分が週ごとに入替）実施した。夏季休業中は各クラス4日（各日7時間）実施した。本校では教員の指導のもと、ベッドメイキングから問診・施術に至るまで学生が自ら実習を行い、実践力の向上に努めている。

6. 国家試験対策として補講講座および模擬試験の充実

1) 既卒生の国家試験対策補講講座

国家試験不合格者を対象として、5月から水曜日・木曜日の週2日（全30回）国家試験対策補習講座を開講し、既卒生国家試験合格率向上に努めた。参加者5名。

2) 3年生の国家試験対策補講講座

3年生で学力確認試験の成績が下位の生徒を対象として、前期は5月から火曜日・金曜日の週2回、後期は10月から火曜日・水曜日・金曜日の週3回、3限授業後に国家試験対策補講講座を実施し、在校生国家試験合格率向上に努めた。

3) 国家試験模擬試験

本科・専科3年生を対象として、合計4回模擬試験を実施した。6月27日（木）には学内で作成した学力確認試験（はき）を、11月22日（金）には（公社）東洋療法学校協会主催の統一模擬試験（あはき）を、12月12日（木）には理療科教員連盟作成の国家試験模擬試験（はき）を、1月15日（水）には学内で作成した国家試験模擬試験（あはき）を実施した。

4) 1・2年生学力確認試験の実施

本科・専科の1・2年生を対象として、3月5日（水）に学内で作成した学力確認試験を実施した。

7. 解剖見学実習および基礎医学実習の実施

1) 解剖見学実習

本科・専科2年生を対象として、5月14日(火)、16日(木)に岐阜大学にて解剖見学実習を実施した。これに加え、本科・専科3年生を対象として、5月19日(日)に愛知医科大学にて解剖見学実習を実施した。

2) 基礎医学実習

本科・専科2年生を対象として、8月26日(月)から29日(木)の期間に基礎医学実習を実施した。実習内容は心電図または皮膚感覚の生理学実習で、実習後、各自レポートを作成した。

8. 臨床実習前施術実技試験

本科・専科2年生を対象として、11月9日(土)に臨床実習前施術実技試験を実施した。この試験は新カリキュラムでは実施が必須となっており、試験内容は学科試験のほか、本科・専科共通課題としてはり実技、きゅう実技及び経穴指示、さらに本科ではあん摩の実技を行った。

9. 救急救命(AED)講習の実施

本科・専科2年生を対象として、9月17日(火)から19日(木)の期間に、稲沢消防署による心肺蘇生法・自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした救急救命講習を実施した。

10. サブスペシャリティー講座(あはき・柔整合同)

学力および実技技術の向上、卒業後即戦力となる人材育成を図るべく、サブスペシャリティー講座を正規授業終了後にそれぞれ週1回(全10回)実施した。

【前期】

2年生 : 基礎実技Ⅰ、経穴学、解剖生理学Ⅰ、総合Ⅰの4講座

3年生 : エコー、テーピング、関節アプローチ、経絡治療、予防プログラムの5講座

【後期】

2年生 : 基礎実技Ⅱ、東洋医学基礎、解剖生理学Ⅱ、総合Ⅱ、美容鍼、触察、トリガーポイント、トレーニング講座の8講座

11. 特別講演会の実施

1) 第1回特別講演会

「運動器の解剖研究で得られたもの」と題し、8月6日(火)に本校柔道整復科教員

の木全健太郎先生の講演を実施した。医学博士号取得の経緯や研究に関する内容をお話頂いた。

2) 第2回特別講演会

「美容鍼灸の機序と臨床」と題し、12月24日(木)に明治東洋医学院専門学校教員の森川由紀子先生の講演を実施した。美容鍼灸について学生をモデルに実技を交えながらお話頂いた。

1 2. 新入生および在校生の退学予防の施策

1) 新入生歓迎会の実施

4月24日(水)に新入生歓迎会と称して稲沢グランドボウルにてボウリング大会を実施した。

2) 新入生および在校生に対する教員による担任クラス生徒との面談

生徒の状況を確認し、適切な指導を行うべく随時個別面談を行った。特に新入生に対しては4月から5月の期間で個別面談を行い、生徒の状況を確認すると共に早期の退学防止を図った。

1 3. 学科・実技合同打合せ会の実施

常勤教員、非常勤教員、実習助手を対象として、4月3日(水)、12月24日(火)に学科・実技合同打合せ会を実施した。授業等における内容確認や授業内容の検討、生徒に関する情報の共有を行った。

(柔道整復科)

1. 教員研修会

(公社) 全国柔道整復学校協会主催教員研修会

日 程：2024年9月21日(土)、22日(日)

場 所：東京保健医療専門職大学 東京都江東区塩浜 2-22-10

主 管 校：学校法人小倉学園 新宿医療専門学校

テ ー マ：柔道整復の新時代へ

教員3名が参加した。

2. 認定実技審査

(公財) 柔道整復研修試験財団認定実技審査(柔道整復実技と柔道実技)

日 程：2024年11月24日(日)

場 所：本校 4 号館

審査方法：整復実技・・・整復実技、固定実技

柔道実技・・・礼法、受け身、投の形、約束乱取

対 象：柔整科 3 年生（25 名） 24 名が合格し 1 名が不合格となった。

不合格者に対して 12 月 16 日に再審査が行われ合格した。

3. 柔道大会

（公社）愛知県柔道整復師会主催愛知県柔道整復専門学校柔道大会

日 程：2024 年 5 月 26 日（日）

場 所：愛知県武道館

中和医療専門学校、米田柔整専門学校、東海医療科学専門学校、名古屋医健スポーツ専門学校が出場し 4 位の結果でした。

4. 実技科目の複数指導者体制

1 年の実技科目（実技Ⅰ、実技Ⅱ）については生徒の習熟度向上の目的のために教員 2 名体制で行った。

柔道実技では傷害防止と志気向上の目的のために 2 名以上の指導体制で行った。9 月からは女子生徒が安心して柔道実技に参加できるように女性の柔道助手を配置した。

5. 臨床実習（4 単位 180 時間）

・学内臨床実習（3 単位 135 時間）

期 間：2 年次 10 月から 3 年次 9 月まで

週 2 回実施（祝日、行事、夏季休業、学年末休業は除く）

・学外臨床実習（1 単位 45 時間）

期 間：夏季休業中：3 年生 学年末休業中：2 年生

生徒 1 人につき 8 日間実施（1 日あたり 6 時間実施）

6. 国家試験対策として補講講座および模擬試験の充実

1）既卒生の国家試験対策補講講座

国家試験不合格者を対象として、5 月から火曜日・木曜日の週 2 日間、国家試験対策補習講座を開講し、既卒生国家試験合格率向上に努めた。

2）3 年生の国家試験対策補講講座

3 年生で成績下位の生徒を対象として、5 月から火曜日・木曜日の週 2 回、3 限授業後に国家試験対策補講講座を実施し、在校生国家試験合格率向上に努めた。

3) 国家試験模擬試験

3 年生を対象として、合計 3 回模擬試験を実施した。6 月 30 日（日）、12 月 7 日（土）には学内で作成した国家試験模擬試験を、11 月 26 日（火）には（公社）全国柔道整復学校協会の統一模擬試験を実施した。

4) 2 年生実力試験の実施

2 年生を対象として、6 月 30 日（日）、12 月 7 日（土）に学内で作成した実力試験を実施した。

7. 解剖見学実習の実施

2 年生を対象に 5 月 16 日（火）に岐阜大学医学部にて解剖見学実習を実施した。

3 年生を対象に 5 月 19 日（日）に愛知医科大学医学部にて解剖見学実習を実施した。

8. 臨床実習前施術試験等の実施

対 象：柔整科 2 年生（12 名）

日 程：9 月 17 日（火）11:00 ～ 11:45 学科試験

11:50 ～ 14:40 実技試験

試験内容：学科試験・・・全身の骨と筋（マークシート方式）

実技試験・・・①医療面接、ROM測定 ②基本包帯法

12 名中 3 名が学科試験、実技試験とも合格した。不合格者 9 名に対しては個別指導および再試験を実施し全員合格した。

9. 救急救命（AED）講習倫理

柔整科 2 年生を対象として、8 月 27 日（火）に、稲沢消防署による心肺蘇生法・自動体外式除細動器（AED）の使用法を中心とした救急救命講習を実施した。

10. サブスペシャリティー講座（あはき・柔整合同）

学力および実技技術の向上、卒業後即戦力となる人材育成を図るべく、サブスペシャリティー講座を正規授業終了後にそれぞれ週 1 回（全 10 回）実施した。

【前期】

2 年生：総合Ⅰの 1 講座

3 年生：エコー、テーピング、関節アプローチ、予防プログラムの 4 講座

【後期】

2 年生 : 総合Ⅱ、トレーニング講座、触診の 3 講座

1 1. 特別講演会の実施

1) 第 1 回特別講演会

「海外で活躍するトレーナーについて」と題し、8 月 6 日（金）13:10～14:40 に下澤幸代先生の講演を実施した。下澤幸代先生はアメリカの大学でトレーナーとして活躍されています。生徒は海外で行われているトレーナーの業務内容や海外でトレーナーとして活躍するための準備方法などを知る機会となった。

2) 第 2 回特別講演会

「陸上トレーナーについて ～2024 年 パリ五輪の活動報告～」と題し、12 月 24 日（火）13:10～14:40 に早野健太先生の講演を実施した。講演ではパリ五輪で実施したトレーナー活動を詳しく説明して頂いた。生徒は資格を取得し努力すれば五輪という大舞台でトレーナーとして活躍することができることを知る機会となった。

1 2. 新入生および在校生の退学予防の施策

1) 新入生歓迎会の実施

4 月 24 日（水）に新入生歓迎会と称して稲沢グランドボウルにてボウリング大会を実施した。

2) 新入生及び在校生に対する教員による担任クラス生徒との面談

担任教員を中心に全生徒に対して個別面談を実施した。学力が伸び悩んでいる生徒に対しては担任以外の教員からも声掛けし学習支援を行った。